

令和3年第5回（11月）掛川市議会定例会
代表質問発言順序

1 創世会 (16番 寺田幸弘 議員)

2 新しい風 (13番 嶺岡慎悟 議員)

3 市民派・公明倶楽部 (18番 窪野愛子 議員)

4 共に創る掛川 (15番 鈴木久裕 議員)

5 日本共産党議員団 (11番 勝川志保子 議員)

令和3年第5回（11月）掛川市議会定例会
代表質問発言順序（予定）

12/7 AM

創世会 （16番 寺田幸弘 議員）

新しい風 （13番 嶺岡慎悟 議員）

12/7 PM

市民派・公明倶楽部 （18番 窪野愛子 議員）

共に創る掛川 （15番 鈴木久裕 議員）

日本共産党議員団 （11番 勝川志保子 議員）

代表質問通告要旨

【会派名：創世会】

議席番号	16	氏名	寺田幸弘	質問の方式（一問一答・一括）
------	----	----	------	----------------

1 市長所信表明について

（答弁：市長）

久保田市長の就任から7カ月余りが経過した。6月市議会定例会の所信表明で3つの政治姿勢を示した。一つ目は、「対話重視」、二つ目は、「未来志向」、三つ目は、「柔軟思考」であった。そこで、現時点での市長の総括について伺う。

- (1) 「対話重視」「未来志向」「柔軟思考」の現時点での自己評価を伺う
- (2) 学校再編計画について、市長の具体的な考えを伺う
- (3) 新型コロナ感染症対策について、現時点で良かった点、反省すべき点を伺うとともに予想される第6波への対応策について伺う

2 地域の魅力を活かす政策について

（答弁：市長、教育長）

希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川を目指し、掛川市第2次総合計画基本構想【ポストコロナ編】では7つの戦略を掲げている。教育・文化分野では、「1.生涯にわたりこころざし高く学び心豊かに暮らすまち」、健康・子育て・福祉分野では、「2.誰もが健やかに、安全で幸せな暮らしをともにつくるまち」、環境分野では、「3.美しい自然環境と共生し、エネルギーの地産地消と資源循環を実現した持続可能なまち」、産業・経済分野では、「4.新しい技術と多様な働き方から活力ある産業を生み出す、世界に誇れるお茶のまち」、シティブロモーション分野では、「5.魅力ある暮らしとホスピタリティにより、選ばれるまち」、安全・安心・都市基盤分野では、「6.災害に強く安全で安心な暮らしを支える基盤を整えたまち」、協働・広域・行財政分野では、「7.協働と連携により誰もが支えあい役立ちあうまち」の戦略7分野に沿い、関連する以下の内容について伺う。

- (1) 横須賀高校をまちづくりの拠点と位置づけ、存続させるための施策を展開していくべきと考えるが見解を伺う
- (2) 埋蔵文化財センター、和田岡古墳群吉岡大塚古墳、大須賀歴史民俗資料館などの歴史資料施設の活用方法について伺う
- (3) 昨年度、ふくしあを中心とした掛川型地域包括ケアシステムの更なる充実と認知度向上について政策提言を行ったが、現況と今後の取り組みについて伺う
- (4) 家族の介護や家事の重い負担を一身に担う18歳未満の「ヤングケアラー」に関する国の調査が始まった。本市での調査及び支援が必要と考えるが見解を伺う

う

- (5) リニア中央新幹線工事の着工に関して、水質への影響も懸念されるが、「水質の保全」に関して市長の見解を伺う
- (6) 現在捕獲した鳥獣は、磐田市にある民間施設で処理されているが、老朽化に伴う故障により受け入れが困難になっている。掛川市独自の施設が必要と考えるが見解を伺う
- (7) 駅前の中心市街地賑わい創出のため、ウィズコロナを踏まえ、今後の具体的施策や予算措置について伺う
- (8) 掛川市海岸線地域ビジョンは、どこが所管し、今後どのように展開していくのか伺う
- (9) 南部地域の人口流出や工場誘致を促進するためにも、海岸防潮堤完成の更なる前倒しが必要と考えるが、今後の見通しについて伺う
- (10) 災害時、あいり～なや、し～すぼなどの広域避難所施設に環境整備、健康管理などの点から冷房設備、太陽光パネル、蓄電池を設置する考えがあるか伺う
- (11) 旧睦浜幼稚園に保管されている避難用簡易ベッド、簡易テント各4,000セットについて、早急に市内各所に分散管理すべきと考えるが見解を伺う
- (12) 協働のまちづくりの在り方として、当局が地区まちづくり協議会、地区区長会との連携をより強めていくべきと考えるが、現状について伺う

代表質問通告要旨

【会派名：新しい風】

議席番号	13	氏名	嶺岡慎悟	質問の方式（一問一答・一括）
------	----	----	------	----------------

1 所信表明について

（答弁：市長）

久保田市長が就任し、7ヵ月が経過した。コロナ禍によってさまざまな制約があり、難しい市政運営を迫られているところである。そこで、6月の所信表明に対して以下の点について伺う。

- (1) まちづくりにおいて、特に重点に置く評価指標は何か伺う
- (2) 経済回復を図るためデジタル商品券（（仮称）かけがわp a y）の導入を検討するべきと考えるが、見解を伺う
- (3) かけがわ乳幼児教育未来学会の今後の方向性について伺う
- (4) 市職員が掛川市の未来を語り合い、ぶつけ合えるような組織づくりが必要だと考えるが、新たな副市長にどのような組織改革を期待しているのか伺う

2 令和4年度予算について

（答弁：市長）

令和3年度当初予算は、“コロナショックをより良いまちづくりのチャンスと捉え、未来に羽ばたく力を蓄積”として、「未来への飛翔力を育む年」の予算と位置づけ、一般会計484億8,000万円（前年比4.5%減）が組まれた。令和4年度は、コロナ禍を乗り越え、一気に羽ばたくための大胆な施策が必要である。そこで、令和4年度予算について伺う。

- (1) 率直に目玉の大胆施策を考えているのか伺う
- (2) 掛川市海岸線地域ビジョンの実現に向けて、どのような予算を考えているか伺う
- (3) 地域活性化起業人は、市費をほとんど使わず民間人材を確保することができるが、この企業人材派遣制度を活用する考えがないか伺う
- (4) 姉妹都市の奥州市出身の大谷翔平選手のMVP受賞を記念した特別展等を開催し、奥州市との関係をより深めることができないか伺う

3 農業振興地域のまちづくりについて

（答弁：市長）

掛川市は、用途地域以外（農業振興地域）が市域面積の約91%を占め、市民の約47%が居住している。今後、後継者不足等による耕作放棄地の拡大はさらに深

刻化し、市民の安全安心、そして豊かな生活を脅かされることが危惧されている。将来を見据えコンパクトシティを進めることも重要ではあるが、そこに暮らす市民の生活を守っていくことはさらに重要である。そこで、農業振興地域のまちづくりについて伺う。

- (1) 水稲と茶の後継者不足が特に深刻であり、耕作放棄地が拡大している。その解決のためには、市が現状を分析し強いリーダーシップを持って進めていく必要があると考えるが、具体的な方策について考えを伺う
- (2) 青地農地の見直しについて、地区まちづくり協議会ごとの地域のゾーニング計画を作成し、計画的な変更を検討していく考えがないか伺う
- (3) 10年後、20年後を見据え、用途地域の区域変更や市街化調整区域の指定を検討する考えがあるか伺う

4 多様性社会について

(答弁：市長、教育長)

掛川市SDGs未来都市計画の中でも、持続可能なまちづくりのために多様性を認め合い、課題解決をしていくことの必要性が述べられているが、これからのまちづくりにとって多様性は重要なキーワードとなってくる。そこで多様性社会について伺う。

- (1) 掛川市ダイバーシティ推進宣言をする考えがないか伺う
- (2) 児童・生徒がソジハラによって悩み傷つくことがある。1番身近な教員のLGBTに対する理解は十分進んでるのか伺う
- (3) 掛川市ひきこもり対策協議会の今後の展望について伺う
- (4) 庁内にオストメイト対応トイレを設置する考えがないか伺う

※ダイバーシティとは・・・多様性。年齢、性別、国籍、学歴、宗教、性的指向、障がいの有無などさまざまな属性の人が集まること

※ソジハラ（SOGIハラスメント）とは・・・個人の性に関連する認識について差別的言動を加える等の心身の苦痛をもたらす行為

※オストメイトとは・・・病気や事故等により、腹部に排泄のためのストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造設した人

5 学校再編計画について

(答弁：市長、教育長)

昨年度より学校再編計画素案の作成に着手し、現在再編計画の複数案作成・検討、1月に議会への報告、2月に各地域別の対話と聞いている。学校再編計画は子どもたちの安全安心、そして地域の将来を守るためにも大変重要な計画とな

る。そこで学校再編計画について伺う。

- (1) 市長は駅南地域への小中一貫校の誘致検討を選挙公約に掲げていたが、現時点の考えを伺う
- (2) 生徒数の増加により教室が足りなくなっている西郷小や、数年後には複式学級となる可能性が高い日坂小、原田小等、学校再編計画の策定を待てず早急に対応すべき学校について、どのように考えているのか伺う
- (3) 小中一貫校については、地元の合意なくして進めないという方針で良いか、またその場合、地元の合意とは何をもって合意と考えるのか伺う

代表質問通告要旨

【会派名：市民派・公明倶楽部】

議席番号	18	氏名	窪野愛子	質問の方式	(一問一答)・一括
------	----	----	------	-------	-----------

1 子どもの健やかな成長を支える環境の整備について (答弁：市長)

昨年度、令和6年度までの5年間を計画期間とする、「こども希望プラン2020第2期掛川市子ども・子育て支援事業計画」が策定された。子どもや子育てを取り巻く社会状況の変化は著しく、コロナ禍による出生率低下も影響し、今後、少子化にますます拍車がかかると思われる。市民が必要とする子育て環境の整備とともに、保育園や幼稚園の在り方についても検討をしていくべきと考え、以下について伺う。

- (1) 保育園入園希望者が増加する中、公立幼稚園の入園の申し込み者は年々減少している。掛川区域の公立幼稚園2園の今後の在り方について、認定こども園化に向けた取り組みを目指すべきと考えるが、見解を伺う
- (2) 私立認定こども園の中に定員割れの園が存在し、地域間に保育ニーズのばらつきが見られる。今後、定員数の見直しの必要性も含め、保育ニーズの多様化にどのように対応していくのか、見解を伺う

2 超高齢社会に立ち向かう福祉施策について (答弁：市長)

目前に迫る2025年問題や8050問題、その後の2040年問題等、超高齢社会への課題が本市にも山積している。団塊の世代のすべてが後期高齢者となる令和7年、約5人に1人が認知症を発症するといわれている。誰もが住み慣れた地域で最期まで尊厳を持って暮らし、人生100年時代構想の実現を果たすために、ふくしあを拠点に展開する福祉施策のさらなる充実強化が求められている。そこで以下について伺う。

- (1) 本市はすでに超高齢社会に突入し、認知症への対応が喫緊の課題となっている。認知症に対する不安のないまちを構築するため、すでに条例制定を行っている市もある。今後、さらなる施策の充実を図り、全市的に認知症対策に取り組むべきと考えるが、見解を伺う
- (2) 病院から在宅へと変化する医療、予防施策の充実をはじめ、訪問診療や訪問看護、訪問介護の充実、さらには緩和ケアや看取りまでも視野に入れた、在宅医療体制の構築が急務であることから、予算確保や人材確保の見通しを伺う

3 人が集い、賑わいを生む中心市街地の再形成について

(答弁：市長)

本市の中心市街地は、長い歴史の中で培われた文化や伝統を継承し、商業や業務、居住等の都市機能が集積した「まちの顔」とも言うべき地域である。しかしながら、市役所などの公共施設の移転や、車社会化の進展による慢性的な駐車場不足などから、大型集客施設の郊外移転や、居住人口の減少、交流人口の減少などにより、まちなか商業施設の魅力も低下し、市民ニーズに対応ができず衰退が進んでいる。今後、ポストコロナ社会における、チャレンジする新しいまちづくり、中心市街地の賑わい創出について伺う。

- (1) 今日まで取り組んだ中心市街地活性化の各種事業から見えてきた課題を踏まえて、まちなかの新たな賑わい創出のための施策展開について伺う
- (2) 掛川駅周辺地区都市構造再編集中支援事業により、掛川駅南北通路のほのぼのパスのエレベーターや、掛川駅前歩道点字ブロックの整備も計画されているが、今後の見通しについて伺う

代表質問通告要旨

【会派名：共に創る掛川】

議席番号	15	氏名	鈴木久裕	質問の方式	(一問一答)・一括
------	----	----	------	-------	-----------

1 総合計画について

(答弁：市長)

第2次掛川市総合計画については、初版が平成28年に計画期間を平成37年(令和7年)までの10年間として策定され、令和2年3月に中間見直しとして改定し、さらに本年3月にはポストコロナ編として基本構想部分を議決・再改定したところである。

現在基本計画を策定中と承知しているが、基本計画部分のみの改定で、新しい市の将来像などを十分に反映できるのか、策定の考え方等について伺う。

- (1) 将来人口まで見直すのであれば、当然、基本構想も変更・議決するものと思うが考え方を伺う
- (2) 久保田市長の思い描く掛川市の将来像は、「未来に向けてチャレンジできるまち掛川」なのか「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」なのか伺う
- (3) 基本構想部分まで踏み込むのであれば、第2次計画の再々改定でなく、「第3次掛川市総合計画」として策定していくべきではないか考えを伺う
- (4) 総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成すると計画書に明示されているにもかかわらず、未だ実施計画が策定されていない。どのように考えているのか伺う

2 中心市街地の活性化について

(答弁：市長)

中心市街地について、国の認定を受けての中心市街地活性化基本計画は計画期間が終了しているが、今後の活性化の方針や施策について伺う。

- (1) 中心市街地活性化は都市計画的問題であると思うが、これまでの市全体の土地利用のあり方を含め、都市計画問題としての認識と今後の中心市街地活性化施策の取り組み方針を伺う
- (2) 中心市街地への居住、業務、医療・福祉、子育て・教育、公共サービス、交通、そして商業など、諸機能再集積についてはどのように考え、進めて行く方針なのか伺う
- (3) 特に居住について、当市で最初の市街地再開発事業として整備し成功した「みらいふ掛川」のような中小規模な再開発事業ならば、リスクも比較的少なく居住人口増・集積に有効と考えるが見解を伺う

- (4) ウォークアブル推進都市の指定を受け、現在は各種事業を検討、計画している段階と承知している。今後は道路の構造や施設、街路樹等を含めたハード面の更新・再整備も視野に入れた計画としていくのか伺う
- (5) 駅前東街区・西街区は、いずれも結果的に民間主体の開発事業となったが、中心市街地活性化の観点から、今後、直接的・間接的にどのような関わりや支援をしていくのか考えを伺う

3 骨格的幹線道路築造や高速道路スマート I C の推進について (答弁：市長)

市の骨格的道路網築造や高速道路への接続など、交通の利便性を増し、市の発展につなげるためのインフラ整備はまだまだやるべきところがあると考えます。これらのうち、特に大規模な事業について、考え方、取り組み方針などについて伺う。

- (1) (仮称) 掛川西スマート I C については、都市計画もされておらず、ここ数年でにわかに浮上した構想とを感じるが、そもそもの発端とこれまでの経過、現状を伺う
- (2) 同スマート I C は、袋井・掛川間は I C 間の距離が長いことから、あれば便利とは思いますが、市としての交通利便性向上や土地利用への波及効果についてはどうか、見解を伺う
- (3) (仮称) 掛川西環状線構想は事実上頓挫しているが、今後の方針について伺う
- (4) 新東名掛川 P A スマート I C は、特に市北部住民からの要望も強く、波及効果も大きいと考えるが、どのように取り組んでいく方針か。掛川西スマート I C との優先順位付けも含め伺う
- (5) 掛川東環状線がもたらす市内道路交通体系上の利便性向上効果について伺う
- (6) 掛川東環状線は、県決定の都市計画道路であることから、市内のみならず広域的な交通利便性向上効果もあると考えられているのか伺う
- (7) 掛川東環状線によって、市内の新たな土地開発や既存の土地利用、産業等にもたらす波及効果はどのようなことが考えられるのか伺う
- (8) 掛川東環状線は、交通体系上の利便性向上や土地利用、市の発展への寄与など様々な効果を考えれば、最も重要で優先度が高いと考える。いまこそ事業化を決断すべきと思うが考えを伺う

代表質問通告要旨

【会派名：日本共産党議員団】

議席番号	11	氏名	勝川志保子	質問の方式 (<input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括)
------	----	----	-------	---

- 1 誰ひとり取り残すことなく幸せにするためのSDGs推進のあり方について
(答弁：市長、教育長)

SDGs未来都市に選定されている掛川市は、来年度の行政経営方針の分野別共通事項として、DX推進と共にSDGsの推進をあげている。国際的な開発目標であるSDGsは、全世界な視点を持ちつつ、それぞれの場での持続可能性を追求しなくてはならない。また、誰ひとり取り残さないという理念の実現のためには、公正と正義、そして民主主義を貫くという理念が非常に重要である。自治体としてSDGsに取り組むとき、この高い理念や倫理観をしっかりと施策に反映させなければ、個別施策をSDGsの項目に紐付けしただけに終わりかねない。市民を誰ひとり取り残すことなく幸せにしていくためのSDGs推進の見解と覚悟を伺う。

- (1) 市が持続可能（サステイナブル）である条件を伺う
- (2) 誰ひとり取り残さない包摂的な社会を目指すには、温かい福祉政策が必要だと考えるが見解を伺う
- (3) 持続可能な経済のためには、地域循環型経済の構築が重要だと考えるが、見解を伺う
- (4) 環境破壊を許さないため、積極的なゾーニングや規制もしながら、地域資源を持続活用させることが重要だと考えるが見解を伺う
- (5) 多様性を認め合う社会の醸成が欠かせないと考えるが見解を伺う
- (6) SDGsを推進する力を持った市民に積極的に参画してもらうためには、正義と公正を培う生涯教育が大切だと考えるが見解を伺う
- (7) パートナーシップには、企業だけではなく、行政、市民団体や地域、個人が積極的に知恵と力を発揮できる場作りが要だと考えるが、市のプラットフォームをどのように発展させていくつもりなのかを伺う